

県内の景気動向

概況（2021年1月）

景気は、後退している

観光関連では、入域観光客数は前年を下回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を下回る

1月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は新型コロナウイルスの影響などで前年を下回り、スーパーは2019年10月の消費税率引上げに伴う反動や巣ごもり需要の継続などにより前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は2019年10月の消費税率引上げに伴う反動で軽乗用車などが増加したことから前年を上回り、電気製品卸売は2019年10月の消費税率引上げに伴う反動増や、家電量販店向け販売で白物家電やエアコン、空気清浄機などは増加したことから前年を上回った。

建設関連では、公共工事は国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから前年を上回った。建築着工床面積は居住用、非居住用ともに減少したことから前年を下回った。新設住宅着工戸数は持家、貸家、分譲は減少したことから前年を下回った。建設受注額は公共工事、民間工事ともに増加したことから前年を上回った。

観光関連では、入域観光客数は前年を大幅に下回った。国内客、外国客ともに前年を下回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。

総じてみると、消費関連は新型コロナウイルスの影響で弱含んでいること、建設関連は民間工事に一服感がみられ弱含んでいること、観光関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しており、県内景気は後退している（下方修正）。

消費関連

百貨店売上高は、新型コロナウイルスの影響などで、20カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高は、2019年10月の消費税率引上げに伴う反動や巣ごもり需要の継続などにより住居関連と食料品が増加したことから、既存店ベースは4カ月連続で前年を上回った。全店ベースは4カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、新型コロナウイルスの影響でレンタカーの減少が続くも、2019年10月の消費税率引上げに伴う反動で軽乗用車などが増加し、2カ月ぶりに前年を上回った。電気製品卸売販売額は、2019年10月の消費税率引上げに伴う反動増や、家電量販店向け販売で白物家電やエアコン、空気清浄機などは増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響が一巡するも、しばらく弱含む動きが続くとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県は減少したが、国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから、3カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（12月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから6カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（12月）は、給与は増加したが、持家、貸家、分譲は減少したことから7カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから4カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメントは7カ月連続で前年を下回り、生コンは7カ月連続で前年を下回った。鋼材は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により一部で単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年を下回り、木材は住宅関連工事向けの出荷減などから前年を下回った。

先行きは、手持ち工事額は引き続き高水準であるものの、民間工事に一服感がみられることから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、13カ月連続で前年を下回った。国内客は約7割減少し、外国客は全減となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。主要観光施設入場者数は大幅な減少となった。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに前年を下回った。

先行きは、全世界に感染拡大している新型コロナウイルスの収束時期が不透明なため、外国客が

動き出すのは時間を要しよう。一方、国内に目を向けると GoTo トラベルが一時運用停止となり、11 都府県を中心に緊急事態宣言が発出されたことから、修学旅行などのキャンセルが発生していることもあり、国内客は当面は低水準での推移が続くとみられる。

雇用関連

新規求人数（12 月）は、前年同月比 27.3%減となり 13 カ月連続で前年を下回った。卸売業・小売業や宿泊業・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率（季調値、12 月）は 0.79 倍と、前月と同水準となった。完全失業率（季調値、12 月）は 4.0%と、前月より 1.0%ポイント悪化した。

その他

消費者物価指数は、住居などの上昇や光熱・水道などの下落により、前年同月と同水準だった。

企業倒産は、件数が 5 件で前年同月を 4 件上回った。負債総額は 3 億 1,200 万円で、前年同月比 940.0%増となった。

りゅうぎん調査（2021年1月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2020.11-2021.1)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	▲ 37.7	▲ 27.1
(2) スーパー(既存店)(金額)	2.0	1.7
(3) スーパー(全店)(金額)	4.1	3.7
(4) 新車販売(台数)	4.9	2.7
(5) 電気製品卸売(金額)	16.1	1.8
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	7.9	▲ 10.7
(2) 建築着工床面積(m ²)	(12月) ▲ 38.6	(10-12月) ▲ 22.9
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(12月) ▲ 35.4	(10-12月) ▲ 26.7
(4) 建設受注額(金額)	186.3	100.9
(5) セメント(トン数)	▲ 11.7	▲ 13.9
(6) 生コン(m ³)	▲ 12.0	▲ 10.4
(7) 鋼材(金額)	▲ 11.5	▲ 12.8
(8) 木材(金額)	▲ 11.7	▲ 10.2
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	▲ 80.2	▲ 62.7
うち外国客数(人数)	▲ 100.0	▲ 100.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P▲53.6 (実数) P12.6	(前年同期差) P▲34.1 (実数) P32.0
(3) " 売上高(金額)	P▲78.8	P▲52.2
(4) 観光施設入場者数(人数)	P▲80.8	P▲69.0
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 18.0	▲ 4.4
(6) " 売上高(金額)	▲ 32.9	▲ 16.9
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(12月) ▲ 27.3	(10-12月) ▲ 28.5
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数、12月) 0.79	(実数、10-12月) 0.77
(3) 消費者物価指数(総合)	0.0	▲ 0.4
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 4	(前年同期差) 1
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(12月) ▲ 10.7	(10-12月) ▲ 14.3

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2019年8月より調査先を25ホテルから28ホテルとした。

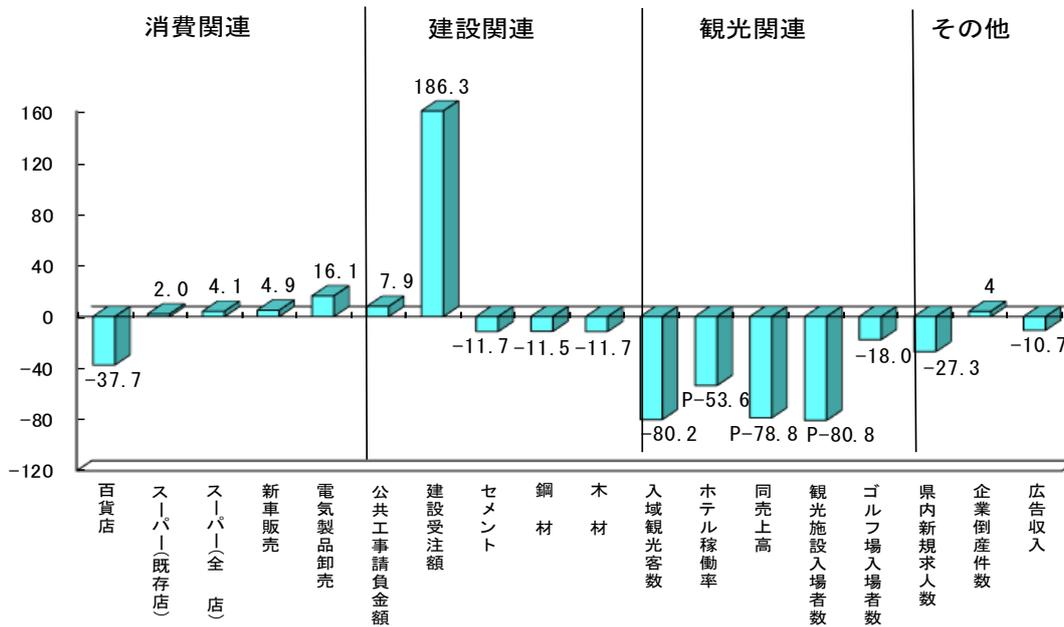
(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

(注7) 有効求人倍率(季調値)は、2020年11月より就業地別を掲載。

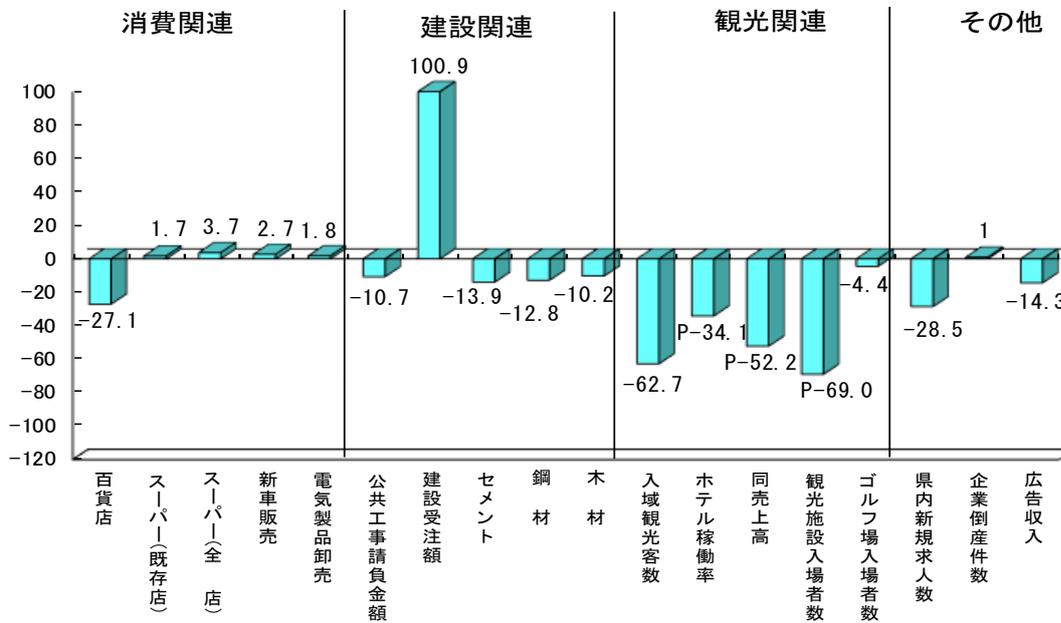
(注8) 県内新規求人数(人数)は、2020年12月より就業地別を掲載。

項目別グラフ(単月、2021年1月)



(注) 広告収入は20年12月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

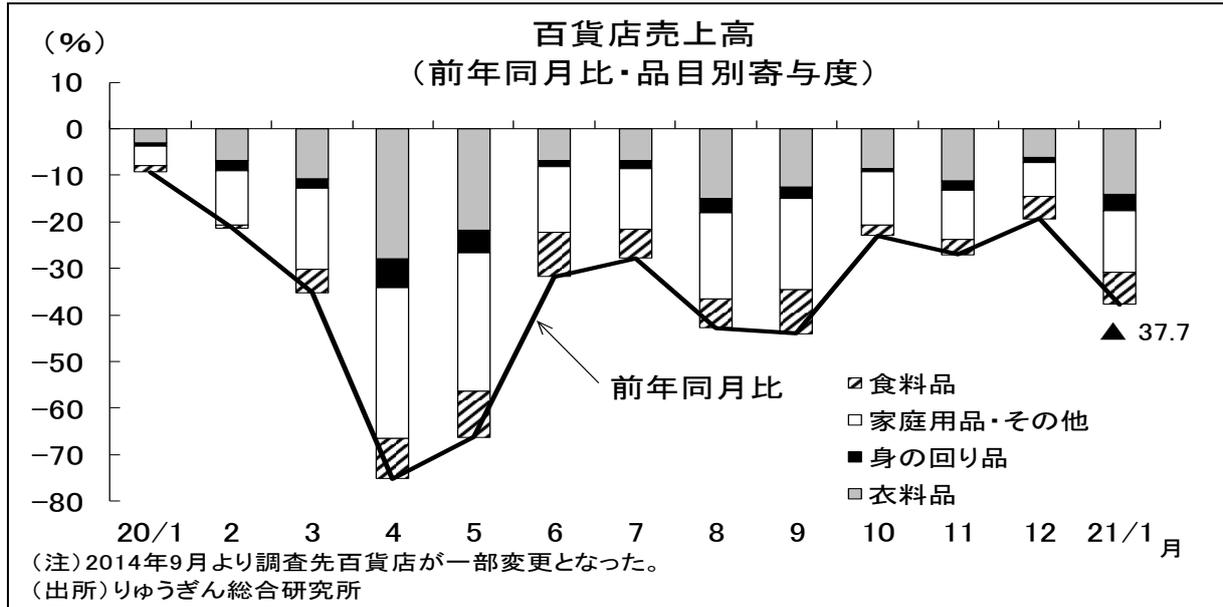
項目別グラフ(3カ月、2020年11月～2021年1月)



(注) 広告収入は20年10月～20年12月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

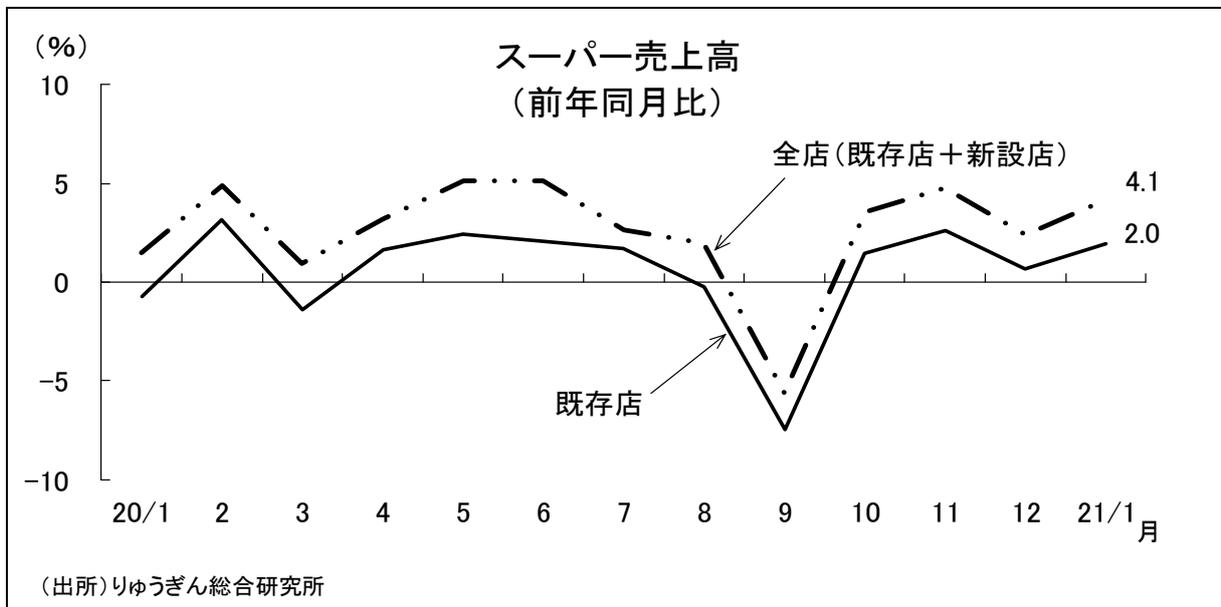
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：20カ月連続で減少



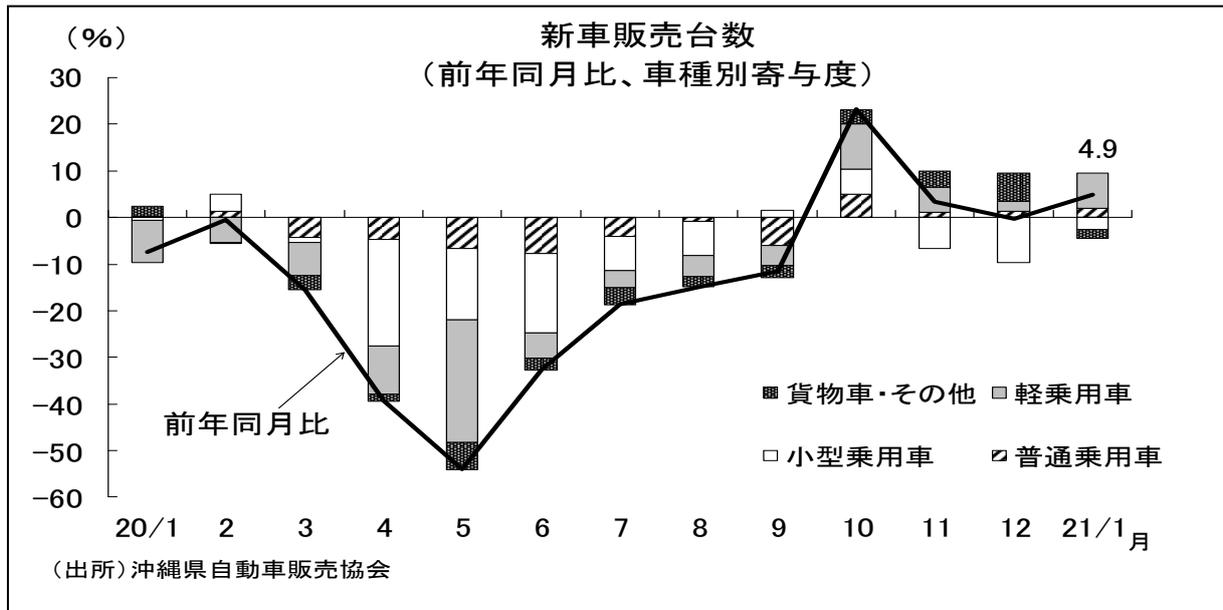
- 百貨店売上高は、前年同月比 37.7%減と 20 カ月連続で前年を下回った。平均気温が前年より低く推移したことから冬物商材の販売を強化するも、新型コロナウイルス感染再拡大に伴う 1 月 20 日からの県独自の緊急事態宣言発出により、消費マインドがさらに低下し、減少幅が拡大した。
- 品目別にみると、衣料品 (同 42.4%減)、家庭用品・その他 (同 38.8%減)、食料品 (同 28.3%減)、身の回り品 (同 40.3%減) が減少した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは 4 カ月連続で増加



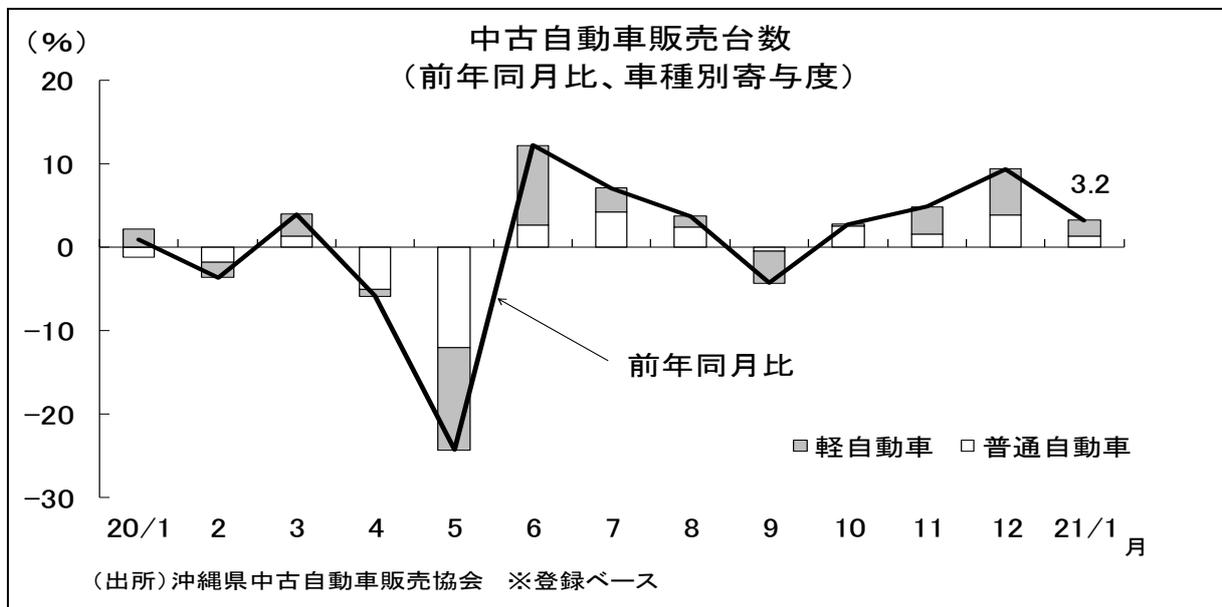
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 2.0%増と 4 カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は巣ごもり需要の継続などで同 3.1%増となり、住居関連は 2019 年 10 月の消費税率引上げの反動などで同 1.5%増となった。一方、衣料品は新型コロナウイルス感染再拡大に伴う消費マインド低下などにより同 12.2%減となった。
- 全店ベースでは、同 4.1%増と 4 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：2カ月ぶりに増加



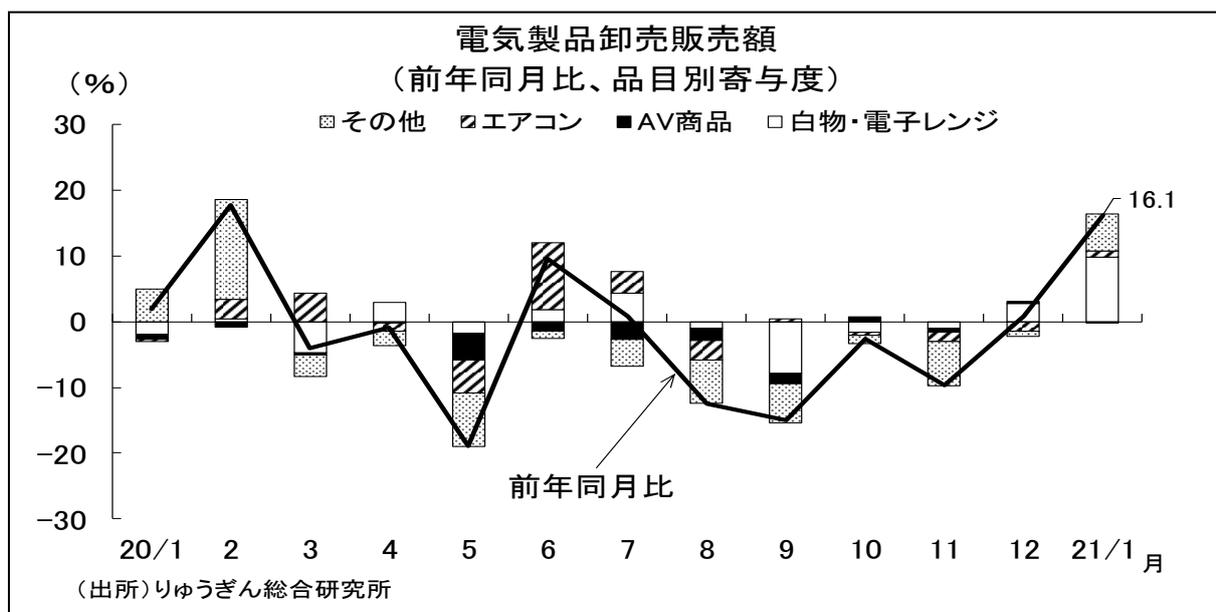
- 新車販売台数は3,478台となり、前年同月比4.9%増と2カ月ぶりに前年を上回った。新型コロナウイルスの影響でレンタカーは引き続き減少となるも、2019年10月の消費税率引上げに伴う反動などで軽乗用車などが増加し、前年を上回った。
- 普通自動車(登録車)は1,344台(同1.9%減)で、うち普通乗用車は601台(同12.5%増)、小型乗用車は583台(同12.3%減)であった。軽自動車(届出車)は2,134台(同9.8%増)で、うち軽乗用車は1,734台(同16.5%増)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：4カ月連続で増加



- 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は1万6,828台で前年同月比3.2%増と、4カ月連続で前年を上回った。
- 内訳では、普通自動車は6,243台(同3.5%増)、軽自動車は10,585台(同3.1%増)となった。

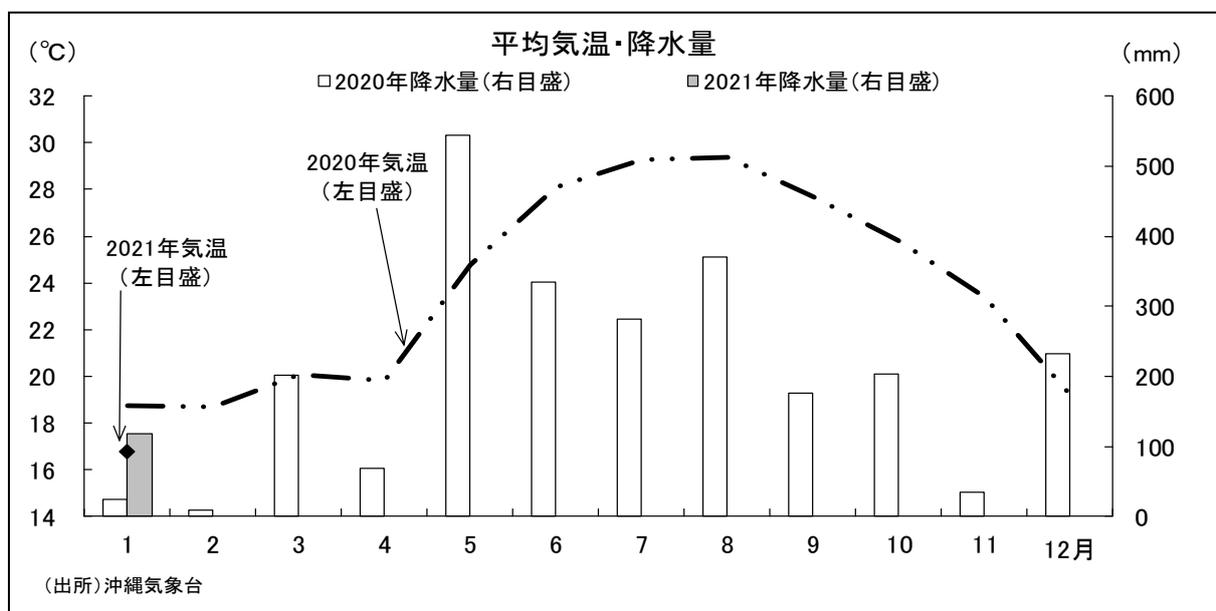
(5) 電気製品卸売販売額：2カ月連続で増加



- ・電気製品卸売販売額は、2019年10月の消費税率引上げに伴う反動や、家電量販店向け販売で白物家電やエアコン、空気清浄機などは増加したことから、前年同月比16.1%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同20.8%減、テレビが同2.7%増、エアコンが同7.5%増、白物では冷蔵庫が同48.6%増、洗濯機が同41.4%増、その他は同11.1%増となった。

(参考)

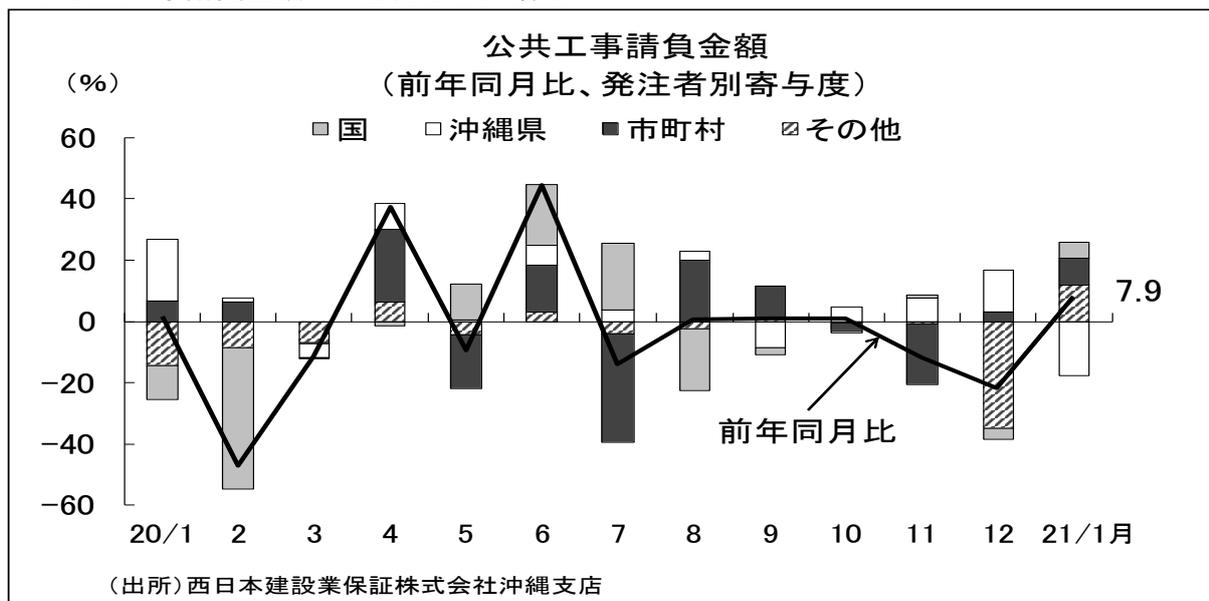
◇ 気象:平均気温・降水量 (那覇)



- ・平均気温は16.8°Cとなり、前年同月(18.7°C)、と平年(17.0°C)より低かった。降水量は118.5mmで前年同月(24.0mm)より多かった。
- ・低気圧や前線、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多く大雨や荒れた天気となった所があったが、中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日もあった。平均気温、降水量、日照時間はともに平年並みであった。

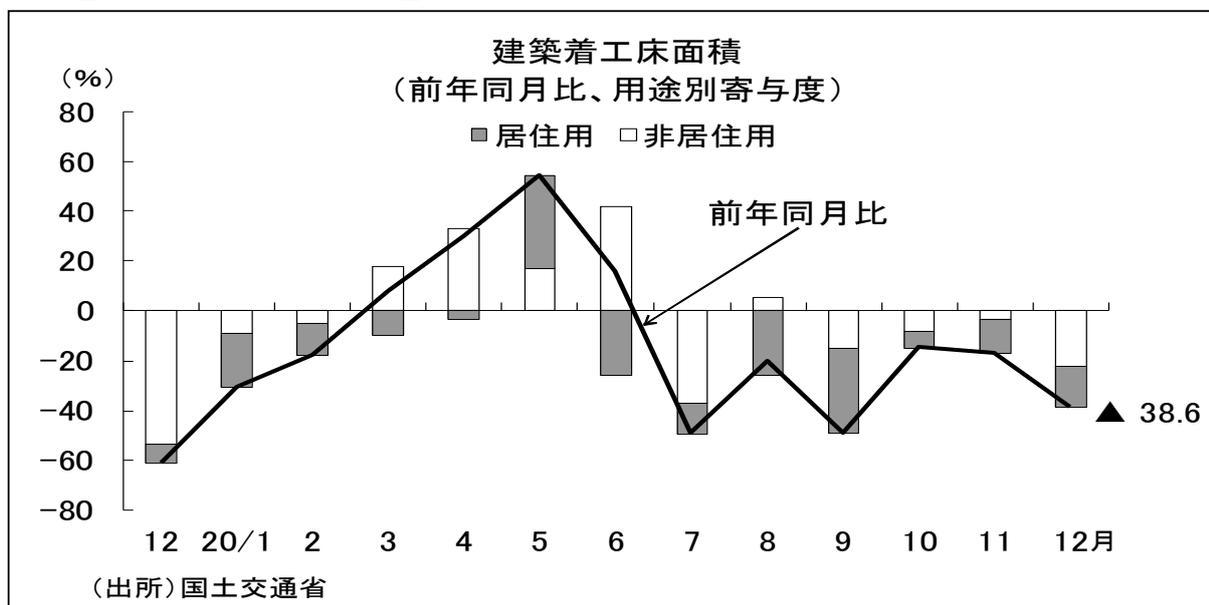
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月ぶりに増加



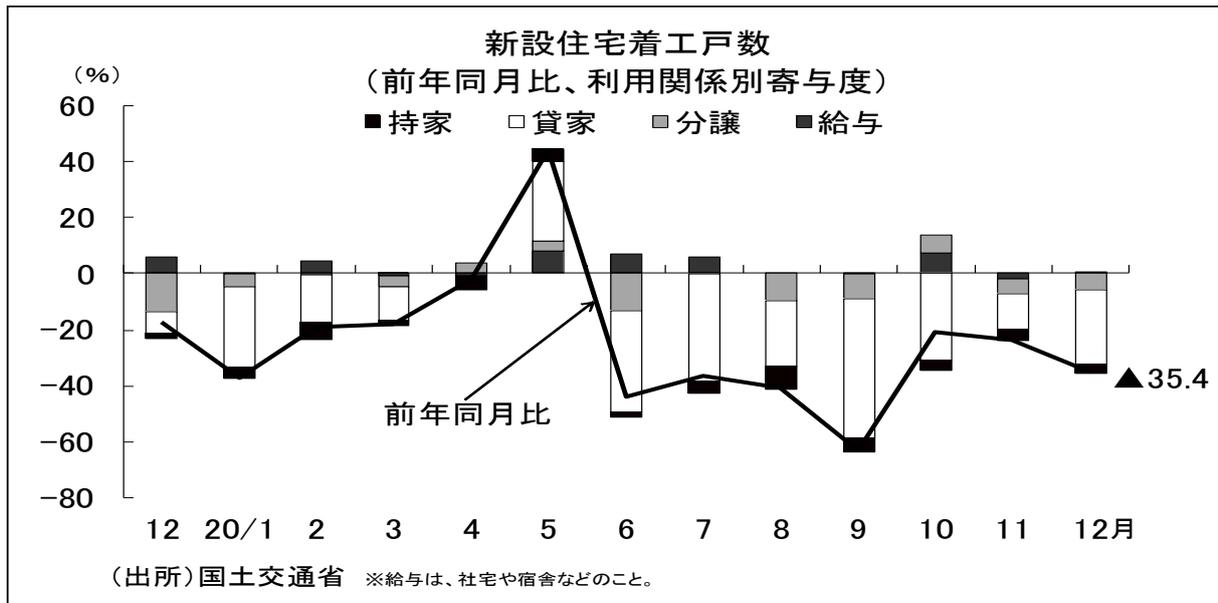
- 公共工事請負金額は、163億4,231万円で、県は減少したが、国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから前年同月比7.9%増となり、3カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国(同18.6%増)、市町村(同25.2%増)、独立行政法人等・その他(同186.7%増)は増加し、県(同55.4%減)は減少した。

(2) 建築着工床面積：6カ月連続で減少



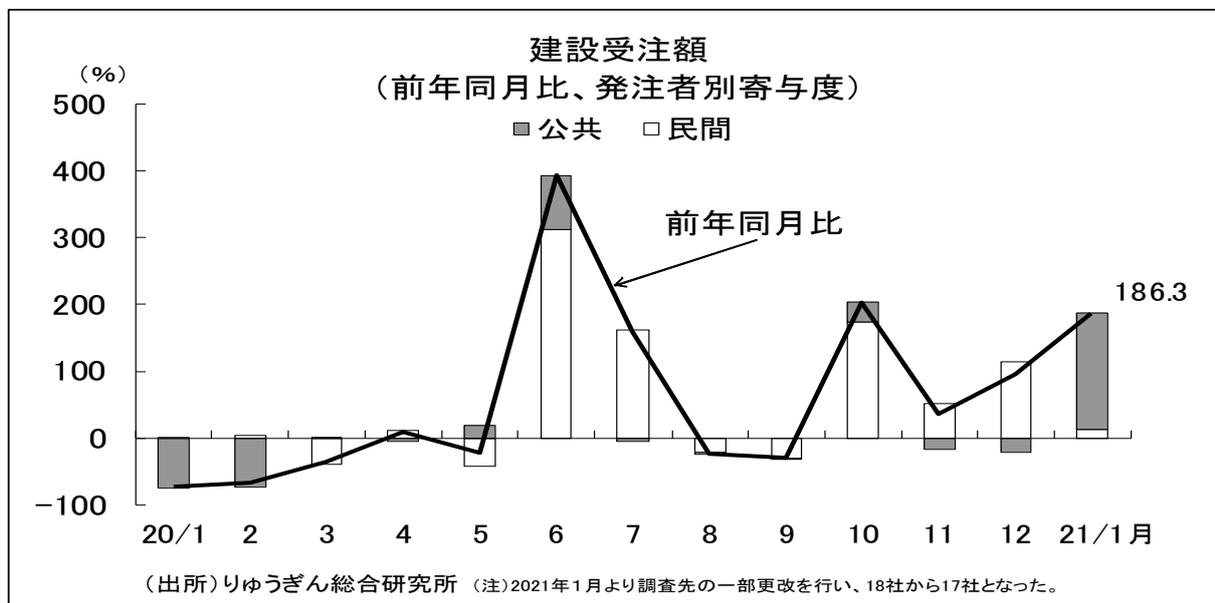
- 建築着工床面積(12月)は8万3,995㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから前年同月比38.6%減と6カ月連続で前年を下回った。用途別では、居住用は同27.1%減となり、非居住用は同56.6%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用は減少し、居住産業併用は増加した。非居住用では、医療、福祉用などが増加し、公務用や製造業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：7カ月連続で減少



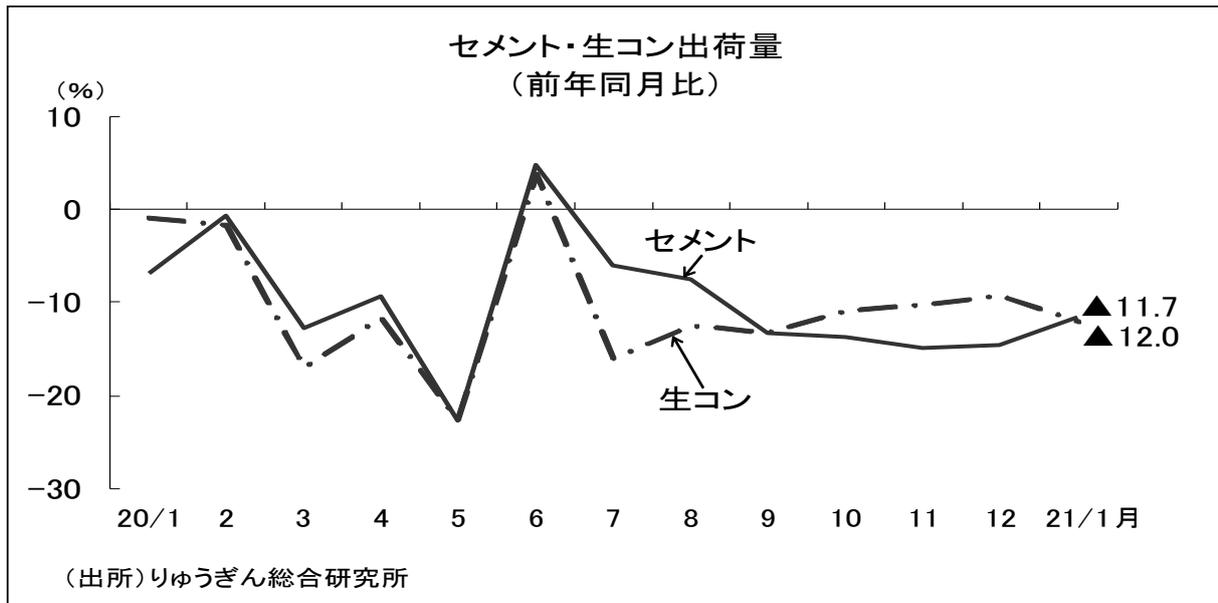
- ・新設住宅着工戸数（12月）は804戸となり、給与は増加したが、持家、貸家、分譲は減少したことから前年同月比35.4%減と7カ月連続で前年を下回った。
- ・利用関係別では、給与（89戸）が同3.5%増と増加した。持家（189戸）が同18.2%減、貸家（410戸）が同44.4%減、分譲（116戸）が同38.6%減と減少した。

(4) 建設受注額：4カ月連続で増加



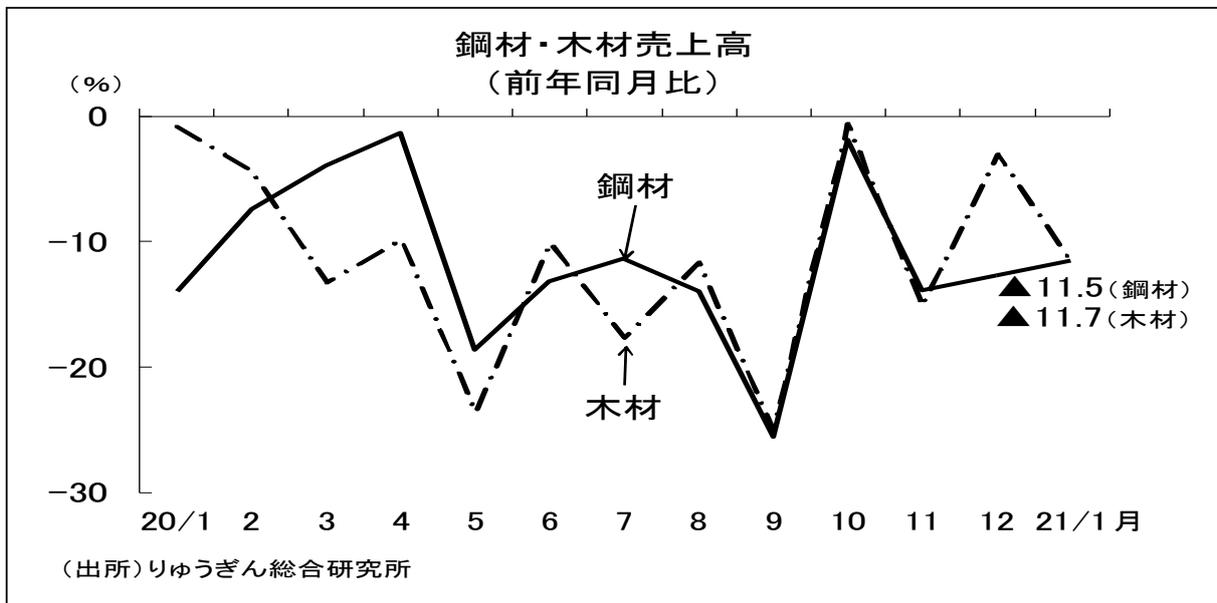
- ・建設受注額（調査先建設会社：17社）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比186.3%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、公共工事（同294.1%増）は3カ月ぶりに増加し、民間工事（同32.3%増）は4カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは7カ月連続で減少、生コンは7カ月連続で減少



- ・セメント出荷量は6万4,021トンとなり、前年同月比11.7%減と7カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は11万4,818 m³で同12.0%減となり、7カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、海事工事向けや学校関連向けなどが増加し、米軍工事向けなどが減少した。民間工事では、電力関連向けなどが増加し、貸家向けや商業施設向けなどが減少した。

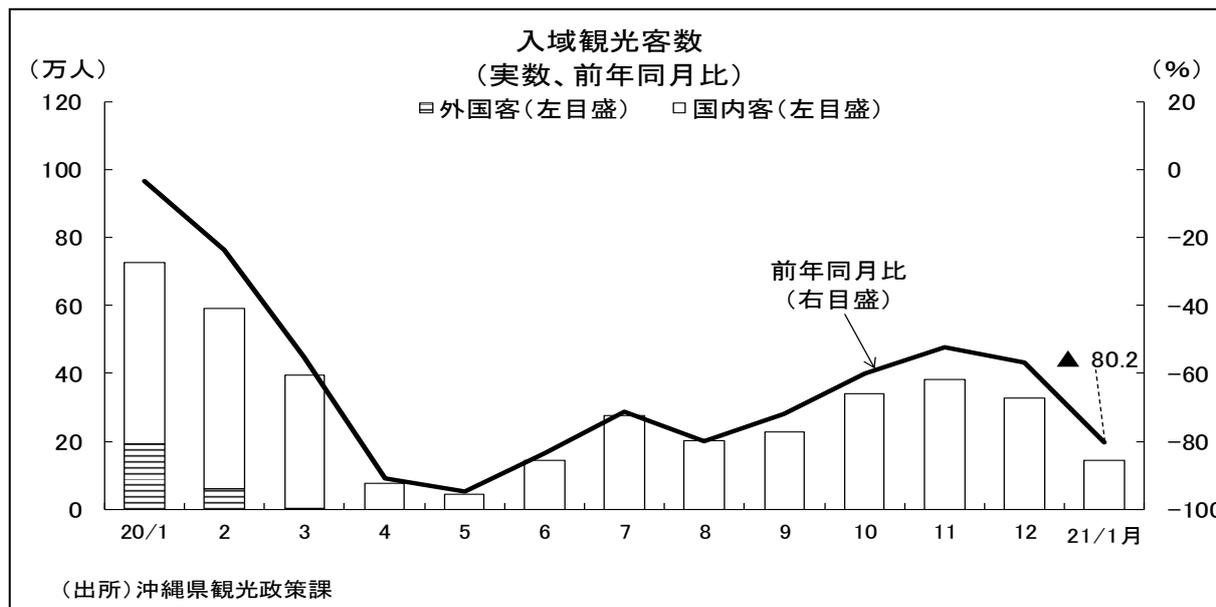
(6) 鋼材・木材：鋼材は16カ月連続で減少、木材は14カ月連続で減少



- ・鋼材売上高は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により一部で単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年同月比11.5%減と16カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向けの出荷が減少したことなどから同11.7%減と14カ月連続で前年を下回った。

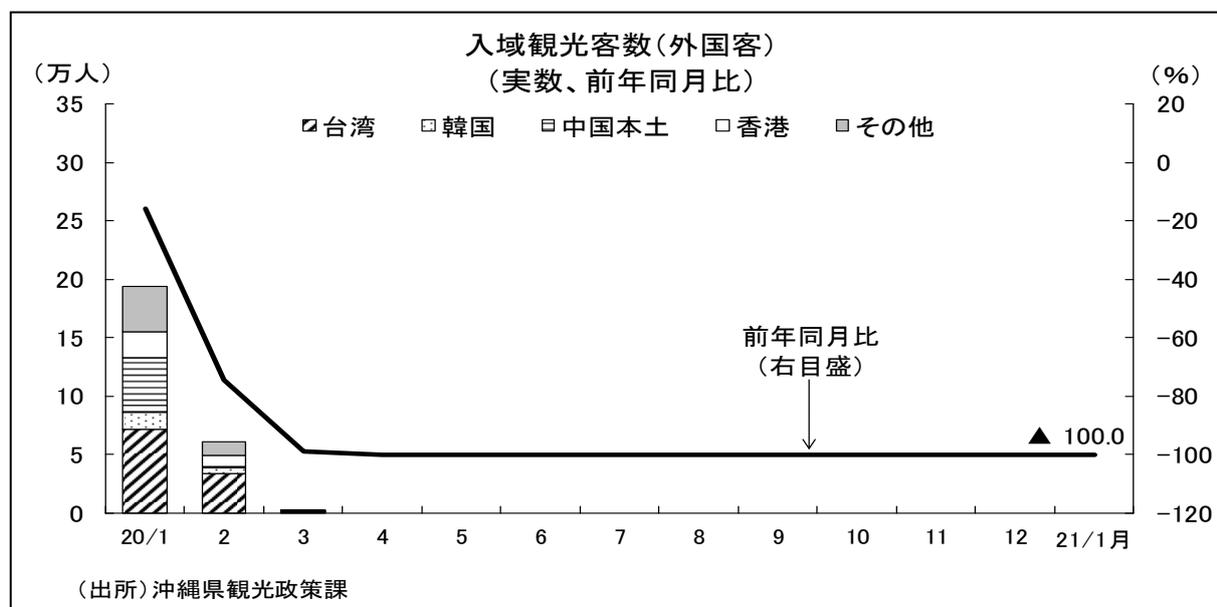
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：13カ月連続で前年を下回る



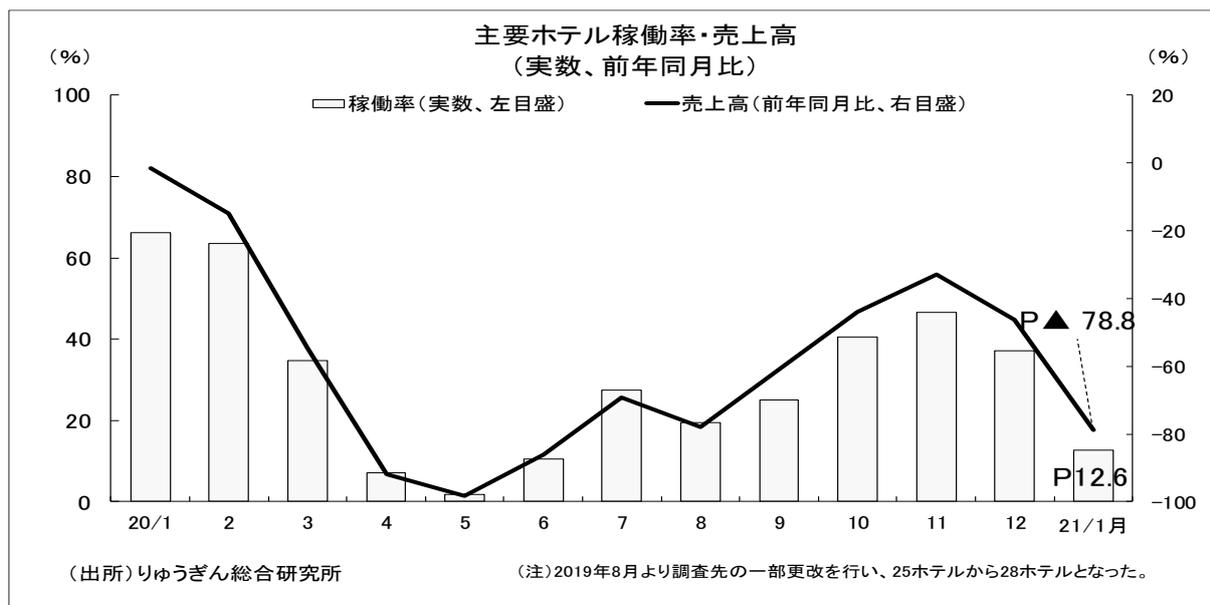
- ・入域観光客数は、14万4,000人（前年同月比80.2%減）となり、13カ月連続で前年を下回った。
- ・路線別では、空路は14万3,200人（同78.1%減）となり18カ月連続で前年を下回った。海路は800人（同98.9%減）となり13カ月連続で前年を下回った。
- ・国内客は、14万4,000人（同73.0%減）となり、12カ月連続で前年を下回った。
- ・GoTo トラベルが全国で一時運用停止となったことや、政府が11都府県に対して緊急事態宣言を発生した影響で、2020年4月、5月に次ぐ低い水準となった。

(2) 入域観光客数（外国客）：13カ月連続で前年を下回る



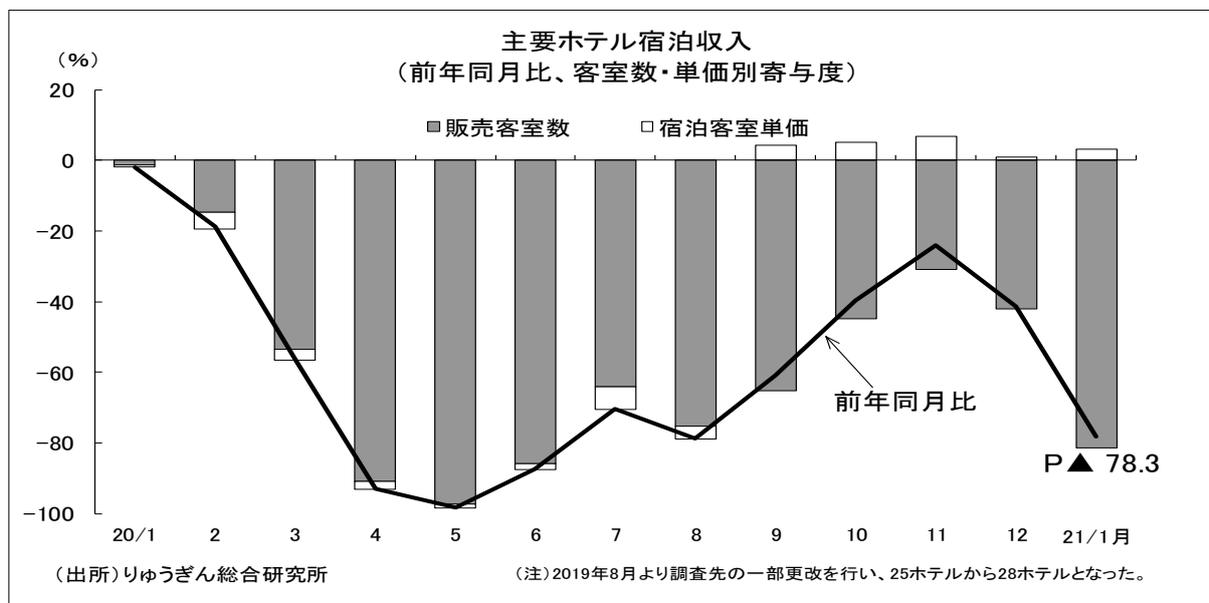
- ・入域観光客数（外国客）は、0人（前年同月比全減）となり、13カ月連続で前年を下回った。
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、県内を発着する航空便およびクルーズ船がすべて欠航となったことから、4月以降10カ月連続で全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は18カ月連続で低下、売上高は20カ月連続で減少



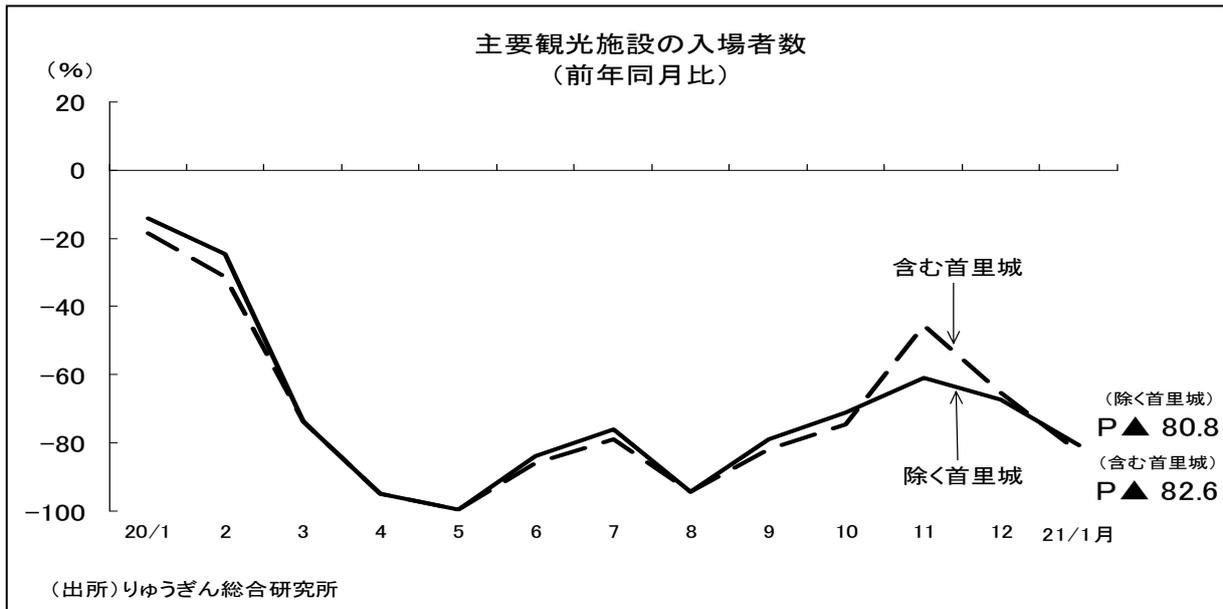
- ・主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は12.6%となり、前年同月差53.6%ポイント低下して18カ月連続で前年を下回った。売上高は同78.8%減と20カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル（速報値）は、客室稼働率は13.2%と同64.8%ポイント低下して18カ月連続で前年を下回り、売上高は同84.4%減と19カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は12.4%と同48.9%ポイント低下して12カ月連続で前年を下回り、売上高は同76.8%減と20カ月連続で前年を下回った。
- ・GoTo トラベルが全国で一時運用停止となったことや、政府が11都府県に対して緊急事態宣言を発出した影響で、2020年4月、5月に次ぐ低い水準となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：19カ月連続で減少



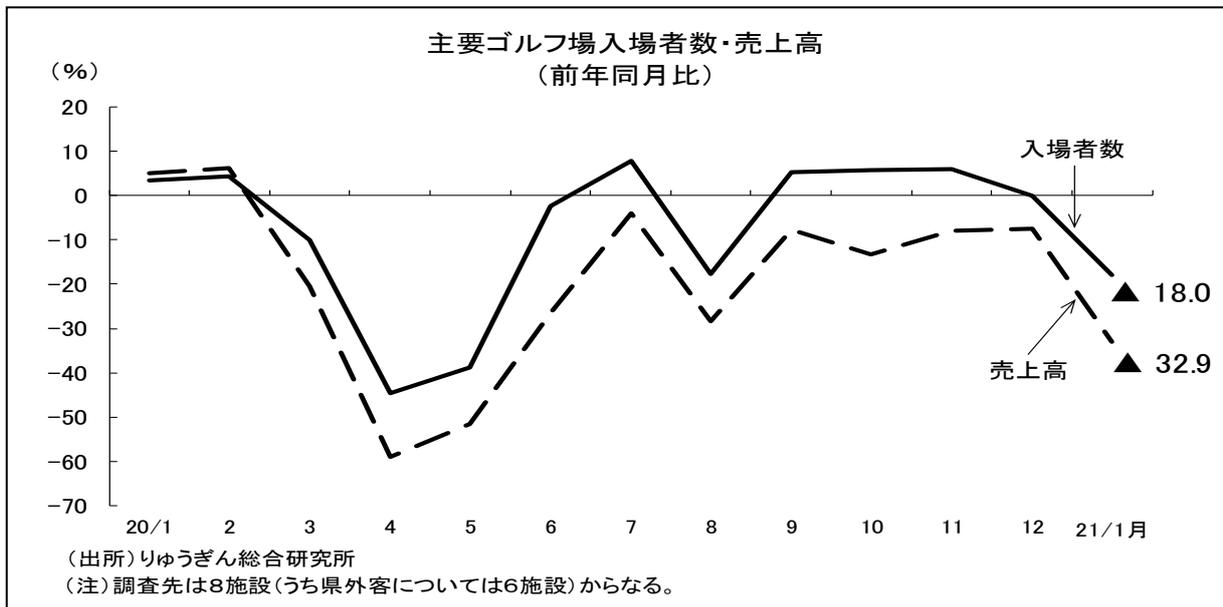
- ・主要ホテル売上高（速報値）のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）は減少、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比78.3%減と19カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル（速報値）は、販売客室数は減少、宿泊客室単価は上昇し、同84.1%減と18カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは、販売客室数は減少、宿泊客室単価は上昇し、同76.5%減と12カ月連続で前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：18カ月連続で減少



- ・主要観光施設の入場者数（除く首里城）は、前年同月比 80.8%減となり、18 カ月連続で前年を下回った。
- ・首里城を含むベースは、同 82.6%減となり、18 カ月連続で前年を下回った。
- ・GoTo トラベルが全国で一時運用停止となったことや、政府が 11 都府県に対して緊急事態宣言を発出した影響で、減少幅は拡大した。

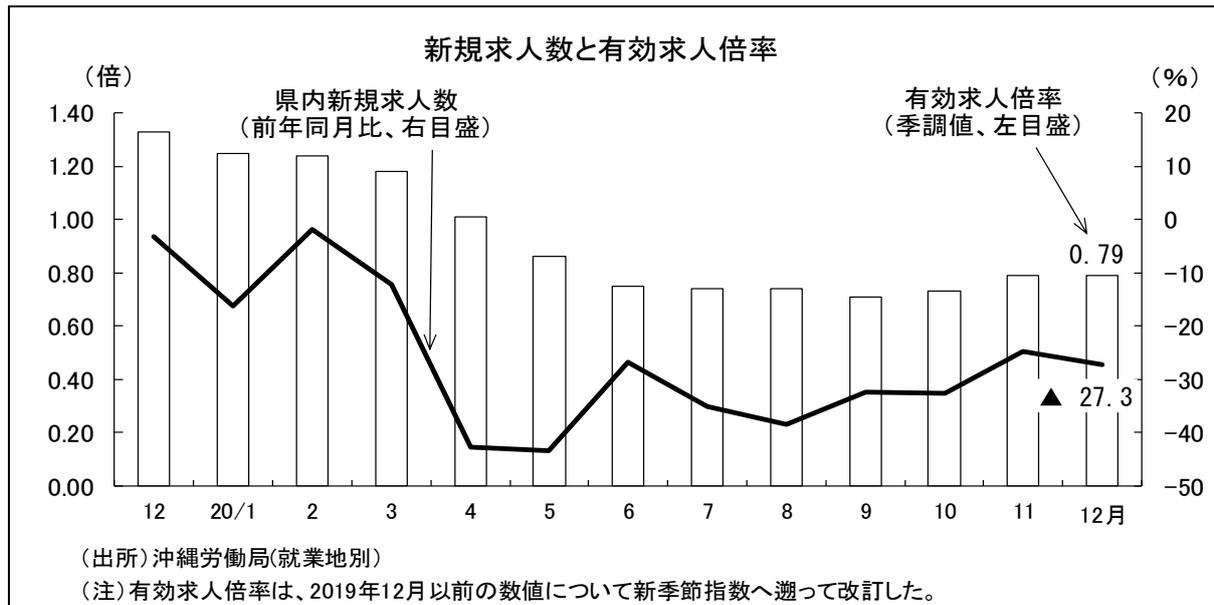
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに減少



- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 18.0%減と 5 カ月ぶりに前年を下回った。県内客は 5 カ月ぶりに前年を下回り、県外客は 14 カ月連続で前年を下回った。
- ・売上高は同 32.9%減と 11 カ月連続で前年を下回った。
- ・沖縄県独自の緊急事態宣言発出により県内客の利用も減少した影響で入場者数は減少に転じた。県内客の減少に加え、県外客の利用も減少し客単価が低下したこと、レストハウスでの飲食の利用が減少したことから、売上高の減少幅は拡大した。

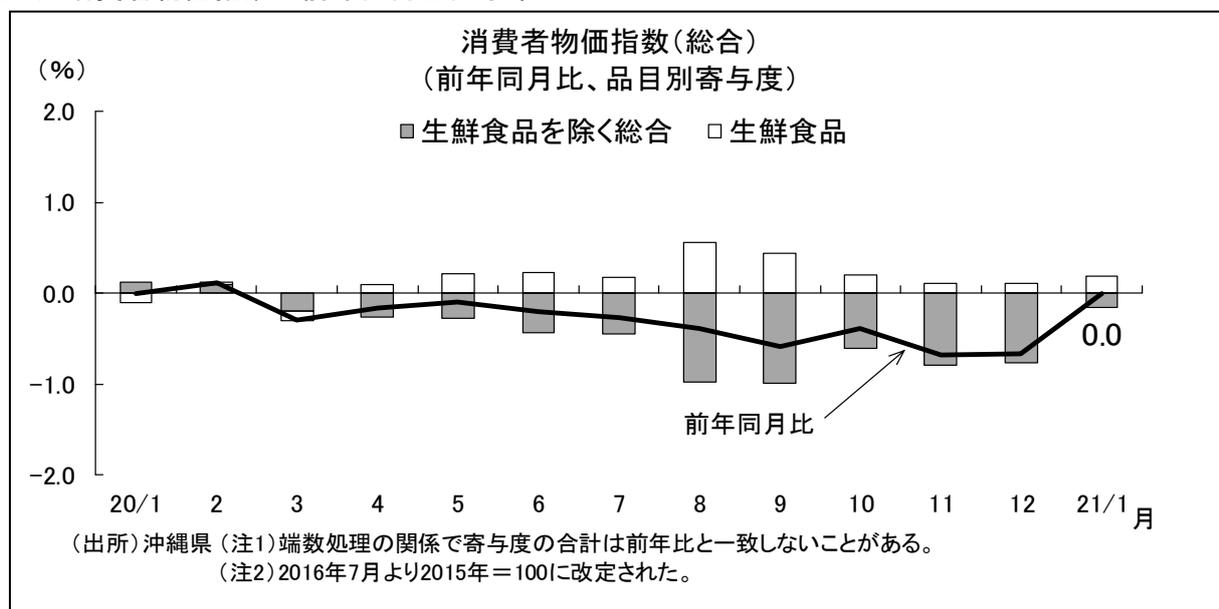
4. その他

(1) 雇用関連(再掲)：新規求人数は減少、有効求人倍率(季調値)は同水準



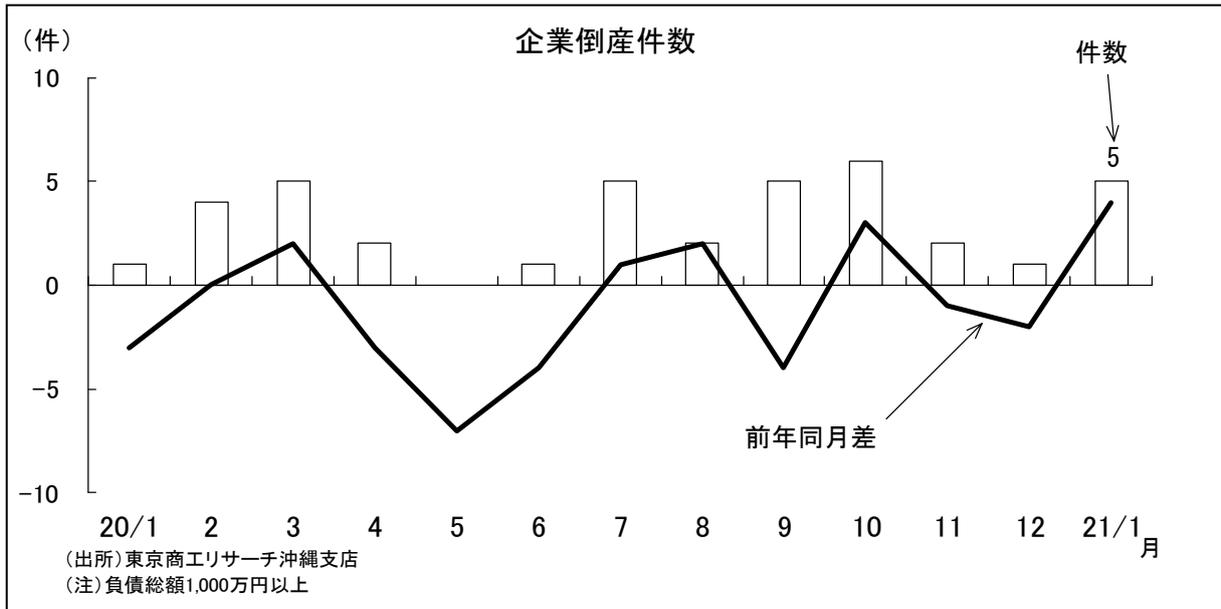
- ・新規求人数(12月)は、前年同月比27.3%減となり13カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、卸売業・小売業や宿泊業・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率(季調値、12月)は0.79倍と、前月と同水準となった。
- ・労働力人口(12月)は、76万人で同1.2%増となり、就業者数は、73万4,000人で同0.4%増となった。完全失業者数(12月)は2万6,000人で同36.8%増となり、完全失業率(季調値、12月)は4.0%と、前月より1.0%ポイント悪化した。

(2) 消費者物価指数：前年同月と同水準



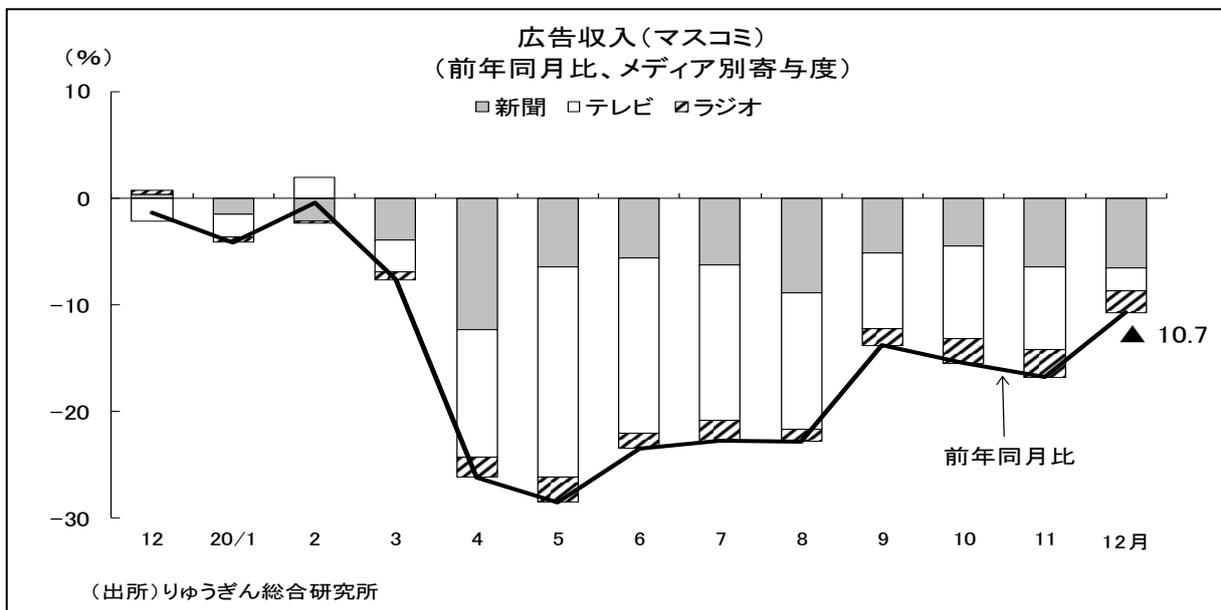
- ・消費者物価指数は、前年同月と同水準だった。生鮮食品を除く総合は同0.2%減と前年を下回った。
- ・品目別の動きをみると、住居などは上昇し、光熱・水道などは下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額はともに増加



- ・倒産件数は、5件で前年同月を4件上回った。業種別では、製造業1件（同1件増）、サービス業3件（同2件増）、情報通信業1件（同1件増）となった。
- ・負債総額は3億1,200万円となり、前年同月比940.0%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：16カ月連続で減少



- ・広告収入（マスコミ：12月）は、前年同月比10.7%減と16カ月連続で前年を下回った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大でイベントなどの中止が相次いでいることから、前年を下回る状況が続いている。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
12	▲ 11.2	▲ 1.4	0.4	4.8	▲ 4.0	1.1	22,615	94.7	137	▲ 61.2
2020 1	▲ 9.3	▲ 0.7	1.5	1.9	▲ 7.3	0.9	15,144	1.3	85	▲ 30.7
2	▲ 21.3	3.1	4.9	17.7	▲ 0.5	▲ 3.7	14,601	▲ 47.5	113	▲ 17.7
3	▲ 35.2	▲ 1.4	0.9	▲ 4.1	▲ 15.5	3.9	35,684	▲ 11.7	175	8.0
4	▲ 75.1	1.6	3.2	▲ 0.9	▲ 39.3	▲ 5.9	23,377	37.2	176	30.0
5	▲ 66.2	2.5	5.2	▲ 18.9	▲ 54.0	▲ 24.3	19,042	▲ 9.5	136	54.2
6	▲ 31.7	2.1	5.1	9.5	▲ 32.7	12.2	29,970	44.5	161	16.1
7	▲ 27.9	1.7	2.6	0.8	▲ 18.7	7.1	44,577	▲ 14.1	126	▲ 49.3
8	▲ 42.7	▲ 0.3	2.0	▲ 12.4	▲ 14.9	3.7	30,333	0.3	147	▲ 20.4
9	▲ 44.0	▲ 7.5	▲ 5.6	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 4.3	32,749	0.7	99	▲ 49.2
10	▲ 23.0	1.5	3.6	▲ 2.7	23.1	2.7	26,886	0.7	140	▲ 14.7
11	▲ 27.0	2.6	4.7	▲ 9.7	3.3	4.8	18,076	▲ 12.0	113	▲ 17.0
12	▲ 19.3	0.6	2.4	0.8	▲ 0.2	9.4	17,672	▲ 21.9	84	▲ 38.6
2021 1	▲ 37.7	2.0	4.1	16.1	4.9	3.2	16,342	7.9	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2018	16,803	1.3	9.3	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 2.4
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	0.8	▲ 0.2	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 71.6	▲ 6.8	▲ 15.7
12	1,244	▲ 17.5	▲ 72.4	▲ 6.1	▲ 4.8	▲ 8.6	▲ 8.9	▲ 9.6	▲ 1.3	▲ 1.4
2020 1	670	▲ 37.4	▲ 73.8	▲ 6.9	▲ 0.9	▲ 14.0	▲ 0.8	▲ 14.1	3.5	▲ 4.1
2	884	▲ 19.1	▲ 67.8	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 7.5	▲ 4.3	▲ 24.5	4.4	▲ 0.4
3	1,094	▲ 18.4	▲ 36.8	▲ 12.8	▲ 17.0	▲ 4.0	▲ 13.3	▲ 73.7	▲ 10.1	▲ 7.6
4	1,129	▲ 2.1	7.7	▲ 9.3	▲ 11.6	▲ 1.3	▲ 9.8	▲ 94.9	▲ 44.6	▲ 26.2
5	1,019	44.1	▲ 22.8	▲ 22.7	▲ 22.6	▲ 18.7	▲ 23.6	▲ 99.6	▲ 38.8	▲ 28.5
6	767	▲ 44.2	392.6	4.8	3.8	▲ 13.2	▲ 10.0	▲ 83.8	▲ 1.8	▲ 23.4
7	896	▲ 36.9	159.2	▲ 6.1	▲ 16.0	▲ 11.4	▲ 17.7	▲ 76.1	7.8	▲ 22.7
8	993	▲ 41.0	▲ 23.7	▲ 7.6	▲ 12.5	▲ 14.0	▲ 11.7	▲ 94.5	▲ 17.6	▲ 22.8
9	600	▲ 63.4	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 13.2	▲ 25.6	▲ 25.1	▲ 78.9	5.4	▲ 13.8
10	985	▲ 20.9	202.4	▲ 13.7	▲ 10.9	▲ 1.9	▲ 0.6	▲ 71.1	5.7	▲ 15.5
11	862	▲ 23.7	35.0	▲ 14.9	▲ 10.3	▲ 13.9	▲ 15.1	▲ 60.9	5.9	▲ 16.8
12	804	▲ 35.4	94.3	▲ 14.6	▲ 9.3	▲ 12.7	▲ 3.1	▲ 67.3	0.1	▲ 10.7
2021 1	-	-	186.3	▲ 11.7	▲ 12.0	▲ 11.5	▲ 11.7	P▲ 80.8	▲ 18.0	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2018	9,847.7	4.8	2,903.8	14.2	80.5	71.9	▲ 0.3	▲ 2.3	90.0	▲ 2.6
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 2.2	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.5	31.4	▲ 65.5	▲ 59.5	-	-
12	755.1	1.0	182.4	2.9	76.8	56.4	▲ 8.0	▲ 6.4	76.9	▲ 8.1
2020 1	727.8	▲ 3.4	193.5	▲ 15.8	78.0	61.3	▲ 4.5	▲ 0.4	83.9	▲ 5.7
2	590.9	▲ 23.5	61.0	▲ 74.6	71.2	62.6	▲ 17.6	▲ 13.6	92.0	4.1
3	396.3	▲ 55.2	2.4	▲ 98.9	35.9	34.3	▲ 57.6	▲ 53.5	75.7	▲ 13.3
4	77.3	▲ 90.9	0.0	▲ 100.0	8.2	6.6	▲ 89.4	▲ 92.4	70.7	▲ 18.4
5	44.0	▲ 94.7	0.0	▲ 100.0	3.4	1.3	▲ 96.9	▲ 98.6	67.9	▲ 26.8
6	144.1	▲ 83.4	0.0	▲ 100.0	8.3	11.3	▲ 88.7	▲ 85.5	73.3	▲ 15.0
7	277.3	▲ 71.2	0.0	▲ 100.0	24.0	29.1	▲ 75.9	▲ 68.1	79.7	▲ 15.3
8	202.8	▲ 80.1	0.0	▲ 100.0	19.1	19.7	▲ 81.6	▲ 77.4	76.1	▲ 13.3
9	227.6	▲ 71.9	0.0	▲ 100.0	18.7	27.7	▲ 77.2	▲ 56.4	70.9	▲ 17.0
10	341.2	▲ 59.9	0.0	▲ 100.0	32.7	43.8	▲ 68.0	▲ 37.2	72.1	▲ 16.3
11	381.1	▲ 52.3	0.0	▲ 100.0	P43.1	48.0	P▲ 67.4	▲ 19.7	75.6	▲ 10.9
12	326.2	▲ 56.8	0.0	▲ 100.0	P38.7	36.6	P▲ 67.3	▲ 38.4	-	-
2021 1	144.0	▲ 80.2	0.0	▲ 100.0	P13.2	12.4	P▲ 84.4	▲ 76.8	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2019年8月より調査先が25ホテルから28ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
		百万円	前年比							
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.31	3.6	28,543	175,452
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
12	3	318	3,080.0	0.1	2.9	0.8	1.33	▲ 3.1	1,505	21,871
2020 1	1	30	▲ 94.6	0.0	3.4	1.5	1.25	▲ 16.1	927	13,567
2	4	530	▲ 25.1	0.1	3.2	1.5	1.24	▲ 1.9	3,199	8,379
3	5	897	715.5	▲ 0.3	2.9	0.1	1.18	▲ 12.1	1,499	13,356
4	2	30	▲ 96.4	▲ 0.2	3.5	▲ 0.1	1.01	▲ 42.6	12,207	11,381
5	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.2	0.1	0.86	▲ 43.4	866	7,143
6	1	490	200.6	▲ 0.2	3.3	▲ 0.1	0.75	▲ 26.8	1,085	11,530
7	5	862	353.7	▲ 0.3	3.3	▲ 1.0	0.74	▲ 35.0	1,636	12,050
8	2	182	100.0	▲ 0.4	3.5	0.4	0.74	▲ 38.5	2,196	12,342
9	5	84	▲ 92.0	▲ 0.6	3.5	0.6	0.71	▲ 32.3	1,212	8,390
10	6	360	318.6	▲ 0.4	3.8	▲ 1.6	0.73	▲ 32.5	2,917	7,088
11	2	87	▲ 86.8	▲ 0.7	3.0	0.5	0.79	▲ 24.8	1,471	6,368
12	1	88	▲ 72.3	▲ 0.7	4.0	0.4	0.79	▲ 27.3	1,025	9,511
2021 1	5	312	940.0	0.0	-	-	-	-	1,516	6,543
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関	

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率は、2019年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)は、2020年11月以前の数値について就業地別へ遡って改訂した。

注) 新規求人数(県内)は、2020年12月以前の数値について就業地別へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	-	-	-	1.399	-	-	-	-	-	-
12	540	134	405	1.465	16	7.0	288	14.3	0	0.000
2020 1	89	551	▲ 461	1.465	16	▲ 9.7	291	▲ 6.1	2	0.007
2	114	223	▲ 108	1.462	14	▲ 14.4	215	▲ 19.5	0	0.000
3	224	215	8	1.458	17	17.8	315	32.8	3	0.011
4	360	130	229	1.455	15	▲ 4.9	291	▲ 13.1	3	0.010
5	98	185	▲ 87	1.441	12	▲ 32.3	223	▲ 37.5	0	0.000
6	543	210	333	1.427	17	14.4	300	32.0	0	0.000
7	212	271	▲ 58	1.419	15	▲ 19.9	284	▲ 16.8	0	0.000
8	202	203	▲ 1	1.412	14	▲ 4.2	260	7.8	0	0.000
9	201	237	▲ 35	1.410	13	▲ 23.0	234	▲ 21.2	0	0.000
10	203	315	▲ 112	1.406	13	▲ 18.1	211	▲ 20.5	1	0.007
11	250	243	6	1.404	14	5.0	269	28.1	0	0.000
12	486	179	306	1.399	13	▲ 19.8	218	▲ 24.5	0	0.000
2021 1	-	-	-	-	12	▲ 25.8	212	▲ 27.0	3	0.012
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	50,092	3.9	38,758	3.3	50,492	4.2	8,462	0.1	1,181	▲ 1.4
2020 1	49,516	3.8	38,818	3.2	49,939	4.0	8,460	▲ 0.1	1,182	▲ 0.9
2	49,804	3.8	38,935	2.9	50,212	4.2	8,450	▲ 0.2	1,183	▲ 0.5
3	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
4	51,610	4.7	39,068	2.8	52,012	4.7	8,877	3.8	1,350	14.9
5	52,787	7.1	39,387	3.2	53,209	7.1	9,272	9.0	1,488	28.6
6	54,208	8.4	39,584	3.5	54,629	8.4	9,718	14.9	1,783	54.0
7	54,155	9.1	39,788	3.9	54,653	9.2	9,966	18.0	2,025	74.6
8	54,764	9.4	39,955	4.1	55,252	9.5	10,084	19.3	2,211	90.4
9	54,537	9.2	40,043	3.9	55,062	9.4	10,166	21.1	2,362	102.1
10	54,812	10.2	40,029	4.0	55,367	10.4	10,228	22.1	2,452	108.6
11	55,404	10.3	40,106	4.0	55,939	10.5	10,266	22.8	2,516	114.5
12	55,474	10.7	40,259	3.9	56,097	11.1	10,392	22.8	2,606	120.8
2021 1	55,315	11.7	40,323	3.9	-	-	10,378	22.7	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。